

毎週 水曜発行

復興ニュース

45号
2011年
10月5日

発行：気仙市民復興連絡会
大船渡市末崎町字石浜 34-1
<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp/>
Twitter @KesenShiminFR
<https://www.facebook.com/kesenfukko>

三鉄盛駅舎「ふれあい待合室」オープン 10月5日から みんなの憩いの場所



岩手県から委託されたNPO法人夢ネット大船渡は、10月5日から三鉄盛駅舎を利用して、大船渡市の活性化を創生する事業を始めました。職員も7名を雇用し、活性化の拠点として、皆様に喜ばれる事業を行いますのでご支援・ご協力をお願いいたします。

事業としては、観光・宿泊・飲食店・イベント情報の提供と発信、さらには観光客等訪問者の対応。お土産品や市民の手づくり民芸品の販売を行います。

さらにホームに置く列車内でのトレインカフェや車内カラオケ、企業や団体の宴会場としての利用開放を行います。また、駅周辺では、郷土芸能や小中高校生・一般市民の文化芸術の披露場所として開放します。

街の活性化拠点に

◆オープンセレモニー

10月5日大船渡市長等を迎えて、開所式を行いました。テープカット後もちまきを行い、そのあと車庫から列車を参加者で押し合ってホームまで移動しました。

◆お茶会の場所・民芸品づくり講座開催も

午前10時から午後5時まで、無料休憩休息場所としてお茶の接待もあります。さらに待合室では民芸品づくり講座などを無料で開催いたします。



販売中の民芸品のひとつ

◆観光・宿泊・飲食店情報、民芸品販売

観光業者の皆様、利用条件等をお知らせください。旅館業の皆様、宿泊希望者を紹介いたしますので、部屋の空情報など情報提供へのご協力をお願いします。さらに手づくりの民芸品を作っている皆様、三鉄盛駅で委託販売いたしますのでお知らせください。

◆連絡先

〒022-0003
大船渡市 盛町 字東町裏 16
三鉄盛駅 ふれあい待合室
電話 0192-47-3542

開店時間
午前10時
～午後5時

ホームページも開設します「三鉄盛駅ふれあい待合室」と検索して下さい

あなたがいたからこの災害を乗り越えられた

今考えよう心のつながり



10月2日(日)大船渡市民交流館・カメラアホールで、大船渡地区認知症の人と家族の会(田口ユリ子代表世話人)主催の世界アルツハイマーデー記念講演会が開かれた。

「東日本大震災の体験を語る」の中で、陸前高田市の及川征喜氏は、津波ではまず逃げることに、危険なところに家を建てないことである。赤崎町グループホーム菊田の河原明洋氏は、「非

常時に問われる避難訓練の重要性」として、9日の地震による津波注意報の際は、避難まで40分かかり、これでは全員助からないと、避難終了後職員で反省会を持って、改善点を話した。

11日の際は、利用者の荷物や必要な荷物を持って、10分間で利用者と職員全員が、3台の自動車(内2台軽自動車)に分乗し、川添の道を避けて避難できた。想定外を想定内とすることが出来たと日頃の避難訓練の大切さを語った。

【認知症 って何?】

●単なるもの忘れとは違います

ひとつの出来事をすっかり忘れてしまう慢性の病気です。例えばお盆に家族みんなで楽しく過ごした後に、「えっ?そんなことあった?」など、小さな内容ではなく出来事を丸ごと忘れてしまっています。

●知的な面で日常生活に支障をきたす病気です

一度獲得した知的な能力が、脳の変化によって低下します。認知症は色々な疾病によって起こりますが、主に、脳が縮んでいくアルツハイマー型認知症と、脳の血管がつまって起こる脳血管性認知症の二つに分かれます。その他、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症などもあります。



～「大震災における認知症ケア」～

秋空に元気な歓声

9月26日(月)大船渡市立根町の福祉の里公園で、「子育てサポートスマイル」主催の子育て支援の集いが行われ、秋晴れのもと30組ほどの親子連れが集まりました。集いでは、読書ボランティア「おはなしころりん」から絵本・手づくりパン・お菓子が配られたほか、内陸部の子育てサポート「わらしやらんど」と奥州市社協の協力で「着ぐるみニコニコ一座」も登場。子どもたちは大喜びでした。終了後は紙おむつ・ミルクなどの支援もあり、お母さん達も笑顔でした。〈熊谷〉



きぐるみに子どもたちは大喜び

武蔵大学生、連絡会事務所で取材

9月23日(金)震災被災地を取材しインターネットで各地の実情を伝える活動をしている、武蔵大学の学生メンバーが指導の松本先生らとともに当事務所を訪れ、NPO夢ネットの西村副理事長にインタビューを行いました。インタビューでは、震災後の気仙地域でのNPOや市民団体の活動の様子を聞き取り、ビデオも撮影。後日編集して、インターネット上のニュースや携帯ワンセグなどで放映するそうです。学生さんたち、緊張しながらの取材撮影でしたが真剣さは十分伝わってきました。がんばって!



緊張しながらインタビュー

● 暮らしのお役立ち情報 ●

ママ&ベビーサロン 「こそだてシッフ」 毎月1回 高田・大船渡で

気仙の助産士さんでつくる「助産士有志の会」が主催する、「こそだてシッフ」の集いが、毎月1回ずつ、大船渡市内と高田市内で開かれます。広いお部屋で、参加も帰宅も自由な「ユルめ」の集まりなので、気軽に参加してください。もちろん**無料**ですよ。

大船渡市 盛町カメリアホール 毎月第1水曜 午前10時～午後3時
陸前高田市 米崎町コミセン 毎月第3火曜 午前10時～午後3時

注意 曜日と場所が変わります。ご注意ください

内 容 育児のあれこれ、赤ちゃんのお世話
母乳育児のコツ、季節のイベントなど *お昼は軽食などもです

問合せ先 TEL・FAX 0192-27-9839 伊藤さん



講演「NPOの役割を考える」いわてNPOフォーラム in 盛岡 10月14日

なぜNPOは震災復興支援に迅速に動けたのか？をテーマに、NPOの役割を考える講演が10月14日(金)盛岡市の岩手県公会堂で開かれます。

動きの鈍い行政機関に先駆けて、震災後すぐに気仙入りし、一緒に泥にまみれ汗を流してくれた国内外のNPOやボランティアのみなさんに、私たちはたいへん助けられ力づけられました。そのNPOにこれから求められること、NPOがよりよく活動できる制度・環境づくりが基調講演で語られます。どっかの行政職員は聴講必須だね (^O^)



10月14日(金) 午後1時 主催：岩手県 岩手県公会堂 大ホール
基調講演 松原 明 さん (NPOシーザー市民活動を支える制度をつくる会 副代表理事)
運営・問合せ いわてNPOフォーラム21 TEL019-605-8271

気仙の手づくり品即売会 10月15・16日 盛町 サンリア

10月15・16日の両日、「気仙の手づくり品即売会」が大船渡市盛町のサンリアで開かれます。出展は布草履・アートフラワー、手づくり陶器など、もりだくさん。この機会に郷土気仙の手づくりのよさを体験してみたいかがでしょう？

10月15日(土)・16日(日) 午前9時から午後5時
サンリア憩いの広場

主催 もさばロハス倶楽部 出展 布草履、アートフラワー、手づくり陶器、
手づくり雑貨、権現さま、アートクレイシルバー ほか



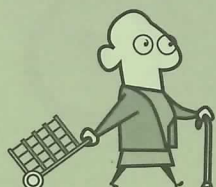
講演会のご案内

シニアが元気！ 地域も元気！

シニアが生きがいを持ってすごせる地域づくりを、みんなで考えようというセミナーが、10月19日(水)に大船渡市のリアスホールで開催されます。講師をつとめるのは気仙地域で活動するNPO「夢ネット」理事長の岩城さん。高齢者の「生きる喜び」について具体的な事例を交えながら講演します。年齢を問わず、お気軽にご参加ください。入場は無料です。

10月19日(水)午後1時～ リアスホール マルチスペース
講演 岩城恭治 さん (NPO法人「夢ネット」理事長)
事例紹介 「音声訳オープンハート」、「寺町桜を育てる会」
主催・問合せ 岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター

TEL019-606-1774



「お香」「千代紙」こころ和む香りと色がとどきました 京都と東京から

暖かな気持ちとともに、こころ和む「お香」と「千代紙」が届きました。大船渡市の仮設団地自治会などからの依頼で、当連絡会が窓口となって、インターネット上で支援をよびかけたものです。品物は、さっそく依頼のあった自治会などに手渡されました。お香のご支援をいただいたのは京都の老舗「松栄堂」さまと東京ご在住のKさま。千代紙をご支援いただいたのは、同じく京都の老舗「長谷川松寿堂」さま。それぞれに、励ましのお手紙がそえられ、京都のお店からはお香と折り紙のセット「折り紙匂い香」の作り方もお送りいただきました。

涼しくなったとはいえ、まだ日によっては魚の腐臭が気になります。お香の香り、千代紙の色がこころを和ませてくれることでしょう。「松栄堂」さま、「長谷川松寿堂」さま、そして東京のKさま、本当にありがとうございます。これからも気仙の被災地を見守り続けてください。

お香には小さなメッセージが →

厳しい日々が続きます
お見舞い申します
香り折り紙
ポケットや鞆に入れてください。
やさしい香り香が漂います。
松栄堂の社員みんなで作りしました

みんな元気に 健康づくり体操 9月29日 永沢仮設



体操でさわやか・元気に



震災のためしばらく中断していた「大船渡市 健康づくり体操」が、大船渡中（永沢）仮設団地の入居の皆さんからの希望で、9月29日から同仮設団地の集会所で再スタートしました。

指導にあたるのは、永沢地区の健康づくり推進員

を務める新沼孝子さんです（写真・円内左上）。

この日の参加会員は20人あまり。これまで思い切り体を動かす機会が少なかっただけに、皆さん体操後はさわやかな表情で、また続けてほしいとの声があがっていました。

〜〜 ケセン語ツイッター 気仙のつぶやき あんだもやるな〜（^◇^）〜〜〜〜

この前のオラの「つぶやき」さメール来たのす。何も来ねば、誰も読んでねようで、寂すなあと思ってながら、メールけだ人ありがでがんす。そのメールの人あ、オラのつぶやき見て「不快」になったんだ。オラも人間小せくて、好かね話っこ聞ぐど、ごせやげっから、まずそればいいのす。おだげえさまだがらね。んでも最後さ書いてあった「私怨」つの何だべ？どごのが仮設の支援員がオラほのスタッフさ「パソコンよごせ、デジカメよごせ」って言（ゆ）ってきて、この「ニュース」届げる邪魔になったのさ。だれや、そんな支援員いる仮設さ「ニュース」ば届けさ行ぎでって。事務所さ担当だづ役人来たがら文句かだったんだとも、すぐ次の日まで同じごどさせで、自分ばほっかむりしてつがら、からがったんだ。そんでも「私怨」ていうんだべがねえ。あつ、わがっだ！支援員の「支援（しえん）」ど「私怨（しえん）」ば重ねだんだな。あんだも、ながながやるな〜（^◇^）あぁ、ほんだ、ほんだ。当の支援員どあ、今、ぺっこは反省してるみでえながら、もう堪忍すっぺがね。〈S〉

活動情報・くらしの情報 お寄せください

気仙市民復興連絡会では、気仙地域の復興支援活動をする団体や各仮設団地自治会などの情報発信をサポートしています。どうぞご利用下さい。また仮設団地などでの広報活動のお手伝いもさせていただいています。お気軽にお問い合わせください。こんな行事や催しがある、こんな要望がある、どんなことでも結構です。

みなさまのくらしに関わる情報を、どんどんお寄せください。

なお、配布や設置にご協力いただける個人の方や店舗さま・団体さまも募集しています。

電話・ファックス 0192-47-3271



連絡会事務所そばの栗の実
秋の深まりを感じます

【復興ニュース】 第45号 2011.10.5

発行：気仙市民復興連絡会

Tel&Fax 0192-47-3271

kesenshimin.f.r@gmail.com

<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp>

「復興ニュース」は中央共同募金会からの助成金を受けて
気仙地域内で4000部発行しています

